

目 次

はじめに	橋本 賢二	i
文学の逆襲—物語る力に秘めた永遠の魅力	橋本 賢二	1
大阪教育大学 米文学研究室紹介【中国語】	郭 華	17

【第一部】

リトールドと解説

ルーシー・モード・モンゴメリ『赤毛のアン』(アンと緑の髪のおはなし) :プリンス・エドワード島の自然と作品	永田 梓	21
コナン・ドイル「ボスコム渓谷の惨劇」:シャーロック・ホームズの世界	井倉由加里	24
オー・ヘンリー「最後の葉」:オー・ヘンリーの魅力	松原 香織	28
オー・ヘンリー「最後の葉」:近代のニューヨークと文学	塩谷 彰久	32
オー・ヘンリー「賢者の贈り物」:長く愛される文学から感じる思いやりの心	富田 彩	35
ヘミングウェイ『老人と海』:偉大な作品との再会	大谷 恭子	38
ヘンリージェイムズ「ねじの回転」:得体の知れない恐怖を読み解く	田路 史歩	41
リチャード・バック『かもめのジョナサン』:生きることの真意	道廣 恵理	45
マーク・トウェイン『不思議な少年』:作品の作られた背景	向井 理恵	48
マーク・トウェイン『トム・ソーヤーの冒険』(ごきげんなペンキ塗りのお話) :いきいきとした子どもたち	結城 秀佳	51
『トム・ソーヤーの探検』:少年たちの大冒険にわくわく	卯野 智広	53
マーク・トウェイン『トム・ソーヤーの冒険』:悪童のヒーロー	松尾 泰子	56
「アウル・クリーク鉄橋での出来事」 :南米戦争時代における戦争経験者視点の文学	笠松 准司	59
ジョナサン・スウィフト『ガリバー旅行記』 :スウィフトがこの本から伝えたかったこと	山崎美紀子	62
ヨセフ・ジェイコブス「ジャックと豆の木」 :ヨセフ・ジェイコブスと <i>English Fairy Tales</i>	大塚 麻里	66
ルイス・キャロル『ふしぎの国のアリス』(ウサギの穴に落ちて):作品の魅力	岸田美紗子	69
ルイス・キャロル『ふしぎの国のアリス』:唯一無二のファンタジーの世界へ	山脇 未帆	71
アリス・ジーン・ウェブスター『あしながおじさん』: ウェブスターの伝えたかったこと	福井 佑那	74
ライマン・フランク・ボーム『オズの魔法使い』:愛され続けてきたオズ	小田 梨加	76
バウム『オズの魔法使い』:19世紀末のアメリカ経済	山浦絵梨奈	78
ライマン・フランク・ボーム『オズの魔法使い』:オズワールド	二宮垂哉奈	81
『エルマーのぼうけん』:化学者ルース・スタイルス・ガネットが愛した色と数の世界	松江志穂子	84

アンドレー・ラング『シンデレラーガラスのくつのものがたり』 :シンデレラのストーリーは著者によってどのように違うのか	山口 由華 88
A.A.ミルン『クマのプーさん』(プー横町に、イーヨーの家が、たつおはなし) :愛される「おばかさん」	大沢 麻友 91
C.S.ルイス『ライオンと魔女』:勇気と裏切らない心	藤原 涼子 94
シャルル・ペロー「長靴をはいたねこ」:西洋で生まれた児童文学	坂口 碧 97
ハリス・クリスチャン・アンデルセン『おやゆび姫』:児童文学の魅力	小川 陽香 100
フランツ・カフカ『変身』:不思議な現実を読む	河津美代子 104
ヤーコブ・グリム、ヴィルヘルム・グリム作『ヘンゼルとグレーテル』 :ドイツ児童文学を考察して	槇納 明衣 109
ヘルマン・ヘッセ『車輪の下』【ドイツ】:青年期のシンパシー	勝木 晃平 111
ジェームス・マシュー・バリー『ピーター・パン・とウェンディ』 :ピーター・パン誕生の秘密	米原万紀子 114
マリー・ルイーゼ・ド・ラ・ラメー『フランダースの犬』 :フランダースの犬の魅力	石川 都 116
ヒュー・ロフティング『ドリトル先生』:みんな大好きドリトル先生	平良 紫野 118
エリック・カール『はらぺこあおむし』:みんなに愛されるわけ	乾 彩友美 121

『星の王子さま』/『シャーロットのおくりもの』/…ほか

【第二部】

わたしの選ぶ一冊:再話して欲しい物語り

まだ幼かったあの頃	久留島歌穂 133
オバマ政権になった今、もう一度、読み返してみたい『アンクル＝トムの小屋』	加賀谷茉莉子 134
『モモ』が教えてくれた時間と意識と心	島田 愛 136
いつからか本を読まなくなった自分	山内 映里 138
私にとっての本	石田 麻純 139
今になって改めて読んでみると…	杉本 結衣 140
『先生は魔法使い?』との出会い	桑野 愛美 141
不滅の探偵シャーロック・ホームズにあこがれて	高瀬 千鈴 142

『itと呼ばれた子』/『ヴェニス商人』/『秘密の花園』/

『ハリー・ポッター・シリーズ』/『若草物語』/『バッテリー』/…ほか

あとがき	橋本 賢二 177
------	-----------